

(研究業績書記載例、A4用紙を使用し右肩に頁数を記入)

- 1 -

研 究 業 績 書

平成 年 月 日
氏名 _____ 印

(著書)

[欧文]

1. Kochi T, Tosa J: Environmental & Preventive Medicine (Nankoku S, Nakamura S eds) Molecular carcinogenesis, pp65-85, ○○ Printing, Tokyo, 1998
2. Kochi T: Handbook of Human Vibration, pp1-354, ○○ Press, London, 2002

[和文]

1. 高知太郎, 土佐次郎, 南国三郎, 中村四郎, 安芸五郎, 窪川六郎: 筋組織の神経支配 (南国三郎, 中村四郎編) 第2章 各動物の筋組織の構造, 30-100頁, ○○書院, 東京, 1996
2. 高知太郎: 平滑筋線維の分析, 全500頁, ○○書房, 大阪, 1997

(学術論文)

[原著, 欧文]

- ◎ 1. Kochi T, Tosa J: Some observations on muscle spindle of the frog.
T Cell Biol 35:105-126, 1995 (IF3.20)

[原著, 和文]

- △ 1. 土佐次郎, 高知太郎: 筋紡錘知覚終末の電子顕微鏡による比較形態学的研究, 電子顕微鏡 35:51-80, 1997
- 2. 高知太郎: 筋紡錘知覚の電子顕微鏡による形態学的研究, 電子顕微鏡 36:111-117, 1998

(学会発表)

[国際学会]

一般演題

1. Kochi T, Tosa J: Some observations on muscle spindle, 36th International Congress of Muscle Spindle, Paris, 1996

[国内全国学会]

シンポジウム

1. 高知太郎, 土佐次郎: 眼の強膜と網膜のグリコーゲン代謝について, 第○回日本○○学会シンポジウム: 眼の糖代謝, 高知, 1994

研究業績一覧表（記載様式）

平成 年 月 日

氏名 _____ 印

著書	計〇〇冊（うち単著又は筆頭者〇〇冊）
欧文	〇〇冊（うち単著又は筆頭者〇〇冊）
和文	〇〇冊（ 〃 〇〇冊）
学術論文	計〇〇編（うち単著又は筆頭者〇〇編）
原著	欧文〇〇編（うち単著又は筆頭者〇〇編）
	和文〇〇編（ 〃 〇〇編）
総説	欧文〇〇編（ 〃 〇〇編）
	和文〇〇編（ 〃 〇〇編）
症例報告	
	欧文〇〇編（ 〃 〇〇編）
	和文〇〇編（ 〃 〇〇編）
その他	欧文〇〇編（ 〃 〇〇編）
	和文〇〇編（ 〃 〇〇編）

Impact Factor(2017年版)総得点 〇〇点

【うち単著又は筆頭者の Impact Factor 総点数〇〇点,
Corresponding author（上記の「単著又は筆頭者」分を除く）の
Impact Factor 総点数〇〇点】

学会発表	計〇〇回（うち筆頭者〇〇回）
国際学会	
特別講演	〇〇回
シンポジウム	〇〇回（うち筆頭者〇〇回）
パネル・ディスカッション	
	〇〇回（ 〃 〇〇回）
ワークショップ	〇〇回（ 〃 〇〇回）
一般講演	〇〇回（ 〃 〇〇回）
国内全国学会	
特別講演	〇〇回
教育講演	〇〇回
シンポジウム	〇〇回（うち筆頭者〇〇回）
パネル・ディスカッション	
	〇〇回（ 〃 〇〇回）
ワークショップ	〇〇回（ 〃 〇〇回）

記 載 要 項

下記の事項に十分ご留意の上，応募書類を作成して下さい。

1. 履歴書（様式1）

- (1) 記載例に従って記載して下さい。年号は和暦で記載して下さい。
- (2) 「学歴」の欄には，高等学校卒業以降の学歴を記載して下さい。
学位については，授与された大学名も記載して下さい。
看護師免許証，助産師免許証等の取得及び交付番号はこの欄に記載して下さい。
- (3) 「職歴」の欄には，職歴及び研究生，専修生等（外国留学等を含む）について記載し，教育歴及び研究歴には，所属講座・部門等まで記載して下さい。
- (4) 「学会及び社会における活動等」の欄には，学会会員，認定医，専門医，指導医，標榜医等の資格及び全国的な社会活動を記載して下さい。
 - ・ 全国学会の会員・役員を記載（地方学会役員を除く）して下さい。
 - ・ 厚生労働省（旧厚生省を含む）の班会議の班員歴がある場合はこの欄に記載して下さい。
 - ・ 学会誌の編集委員は「(その他)」として記載して下さい。
 - ・ 査読や学会誌以外の編集委員は記載しないで下さい。
 - ・ 学会その他の委員会委員は記載しないで下さい。科学研究費補助金等の取得歴については，代表研究者分と分担研究者分を分けて（末尾にそれぞれ代表，分担と記載）年代順に記載して下さい。また，同一テーマで多年度にわたり取得している場合は1つにまとめて下さい。
知的財産については，取得分，出願分の課題名と出願番号，公開番号等を記載して下さい。
- (5) 「賞罰」の欄には，研究活動に関する表彰等も記載して下さい。

2. 研究業績書（記載例に基づく）

研究業績書記載例を参照して，A4用紙に記載して下さい。1枚に記載しきれない場合は，同大の用紙を追加し，右上隅に番号をつけて下さい。また，作成書類は，左側を綴じ代として25mm空けて下さい。

(1) 著書

- ・ 欧文，和文別に分け，年代順に記載して下さい。
- ・ 分担執筆の場合は，応募者本人のところにアンダーラインを引いて下さい。
- ・ 2頁以内の分担執筆（和文）は「学術論文」欄の「その他」に分類して下さい。
- ・ 印刷中（In Press）のものについては，掲載証明書を添付して下さい。

(2) 学術論文

- ・ 原著，総説，症例報告，その他の順で欧文，和文に分け，年代順に記載して下さい。なお，著者全員の氏名を論文記載の順で記し，応募者本人のところにアンダーラインを引いて下さい。
- ・ 原著，総説，症例報告，その他の項目それぞれについて，欧文，和文別に一連番号をつけて下さい。
- ・ 学位論文に◎印，代表論文(10編)に○印，Corresponding author(「単著又は筆頭者」分を除く)としての論文(記載要項2.(4)参照)に△印をそれぞれ論文番号の前につけて下さい。
また Corresponding author として△印を付けた論文については，Corresponding author の記載がされているページがある場合は，そのページのコピーを併せて提出して下さい。

- ・ **Journal Citation Reports**（2017年版）の **Impact Factor** を、各論文の後に（ ）をつけて記載して下さい。
- ・ 印刷中（In Press）のものについては、掲載証明書を添付して下さい。

① 原著

欧文誌の場合の **Impact Factor** は頁数の多少にかかわらずそのままカウントして下さい。
和文の場合、学会誌以外のものは「その他」に分類して下さい。

② 総説

欧文や和文の学会誌の総説を記載して下さい。査読のない商業雑誌やその別冊の総説は「その他」に分類して下さい。

③ 症例報告

欧文誌の場合の **Impact Factor** は頁数の多少にかかわらずそのままカウントして下さい。

④ その他

Editorial, Letter to the Editor はその他に含めて下さい。

報告書、学会の抄録、パンフレット等の文献は記載しないで下さい。

(3) 学会発表

学会発表は、国際学会については、特別講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ、一般講演の区分を明示し、それぞれ年代順に記載して下さい。また、発表者は全員を記載し、応募者本人のところにはアンダーラインを引いて下さい。

国内学会は、全国学会についてのみ、特別講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップに分け、それぞれ年代順に一連番号を付けて記載して下さい。また、発表者は全員を記載し、応募者本人のところにはアンダーラインを引いて下さい。

(4) 研究業績一覧表

研究業績目録に記載した業績を、記載様式に従って一覧表に記載して下さい。

Impact Factor の総得点並びに、**Impact Factor** の総得点のうち単著又は筆頭者、及び **Corresponding author**（「単著又は筆頭者」分を除く）の **Impact Factor** の総点数をそれぞれ記載して下さい。

3. 学位論文及び代表論文（10編）（合計11編）に関わる事項（様式2）

(1) 著者名（全員・応募者本人のところにはアンダーラインを引いて下さい。）

(2) 論文題名

(3) 掲載雑誌名と **Impact Factor**（2017年版）

(4) 内容要約と主張点（200字以内）

(5) 論文の特色と意義（200字以内）

(6) 論文作成における、応募者の具体的役割または担当事項（100字以内）

(7) 本論文への応募者の貢献度を、5を最高、1を最低とする5段階で自己評価し、該当する数字を（ ）内に記載して下さい。